

# 新常用漢字(仮称)試案の字体における問題点\*

安岡孝一†

## 1 はじめに

文化審議会は2009年1月29日の第47回総会で、「新常用漢字表(仮称)」に関する試案を承認した。新常用漢字表(仮称)は、これまでの常用漢字表1945字に代わるべく、常用漢字から5字を削除し191字を追加した2131字の漢字表で、2010年秋の内閣告示を目指している。

新常用漢字表(仮称)は本来、常用漢字表のポリシーを継承するものだと考えられるが、文化審議会において承認された新常用漢字表(仮称)試案を見る限り、少なくともその字体においては、常用漢字表とは似ても似つかないものになってしまっている。本稿では、新常用漢字表(仮称)試案の字体が、常用漢字表とはどのように異なっているか、また、その原因はどこにあるのかについて考察する。具体的には、新常用漢字表(仮称)試案に掲載されている字体を、常用漢字表・表外漢字字体表・人名用漢字・JIS漢字規格・各種フォントに収録された字体と比較し、新常用漢字表(仮称)試案の字体における問題点をあぶりだす。

## 2 新常用漢字表(仮称)試案の字体比較

新常用漢字表(仮称)試案に掲載されている字体を、常用漢字表・表外漢字字体表・人名用漢字・JIS漢字規格・JISドットフォント・各種アウトラインフォントに収録された字体と比較した。字体比較の結果を、付録の比較表に示す。なお、本稿での字体比較に用いたのは、以下の漢字表である。

- 新常用漢字表(仮称)試案  
2009年3月16日意見募集案件185000395号資料。これのPDF中のページ画像から、カッコ書き362+2字を含む2495字を、比較元として切り出した。
- 常用漢字表  
1981年10月1日内閣告示第1号。ただし、官報掲載の常用漢字表は画質が汚く、字体の比較には耐えられなかったことから、「常用漢字表・現代仮名遣い・外来語の表記(付人名用漢字)」(大蔵省印刷局、1992年7月6日初版発行)をスキャンし、カッコ書き355+2字を含む2302字を切り出した。
- 表外漢字字体表  
2000年12月8日国語審議会答申。答申の印刷に使用した平成明朝体アウト

\*東洋学へのコンピュータ利用 第20回研究セミナー(2009年3月27日改定稿)

†京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター

ラインフォントを入手し、アウトライン画像として比較をおこなった。なお、簡易慣用字体に関しては、比較表ではカッコに入れた形で表現している。

- **人名用漢字**

人名用漢字は、1951年5月25日内閣告示第1号と1976年7月30日内閣告示第1号に始まり、1981年10月1日法務省令第51号による戸籍法施行規則改正以後は、1990年3月1日法務省令第5号、1997年12月3日法務省令第73号、2004年2月23日法務省令第7号、2004年6月7日法務省令第42号、2004年7月12日法務省令第49号、2004年9月27日法務省令第66号で順次改正されている。これらの改正のうち、人名用漢字全体を収録しているのは、1981年10月1日改正と2004年9月27日改正だけなので、この2つを比較対象とした。ただし、1981年10月1日の官報号外は画質が汚く、字体の比較には耐えられなかったことから、1981年5月14日民事行政審議会答申をスキャンすることで、これに代えた。また、2004年9月27日の官報に関しては、オフセット原稿に用いたアウトラインフォントを入手し、アウトライン画像として比較をおこなった。なお、これら人名用漢字の表中には、カッコ書きで常用漢字が一部含まれていることから、比較表では同じくカッコに入れた形で表現している。

- **JIS X 0208 (旧 JIS C 6226)**

情報交換用漢字符号規格 JIS C 6226 は、1978年1月1日の規格制定以後、1983年9月1日改正、1987年3月1日 JIS X 0208 に規格番号変更、1990年9月1日改正、1997年1月20日改正を経て、現在に至っている。ただし、1987年版は1983年版と、1997年版は1990年版と、それぞれ全く同じ例示字形を掲載していることから、1978年版・1983年版・1990年版の3つを比較対象とした。1978年版は刷ごとの異同が知られていることから、最終刷である第10刷(1982年9月20日発行)をスキャンして、文字を切り出した。1983年版は、第3刷(1984年2月10日発行)をスキャンして、文字を切り出した。1990年版については、規格票の印刷に使用した平成明朝体アウトラインフォントを入手し、アウトライン画像として比較をおこなった。

- **JIS X 0212**

1990年10月1日制定の「補助漢字」規格。規格票の印刷に使用した平成明朝体アウトラインフォントを入手し、アウトライン画像として比較をおこなった。

- **JIS X 0213**

2000年1月20日制定、2004年2月20日改正の「拡張漢字」規格。2000年版・2004年版のいずれも、規格票の印刷に使用した平成明朝体アウトラインフォントを入手し、アウトライン画像として比較をおこなった。

- JIS X 9051 (旧 JIS C 6232)

1984年11月1日制定の「16ドット字形」規格。規格の16ドットフォントを入手し、ビットマップ画像として比較をおこなった。

- JIS X 9052 (旧 JIS C 6234)

1983年9月1日制定の「24ドット字形」規格。規格の24ドットフォントを入手し、ビットマップ画像として比較をおこなった。

- 各種アウトラインフォント

Microsoft Windowsにバンドルされているアウトラインフォントのうち、MS明朝とBatang(바탕)に対して、比較をおこなった。MS明朝は、バージョン2.00(1993年)、バージョン2.30(1997年)、バージョン2.31(2001年)、バージョン5.00(2006年)を用いた。Batangは、バージョン2.21(2000年)とバージョン5.00(2006年)を用いた。

以下では、付録に示した比較表の中から、特に問題があると思われる字体グループを抜き出し、各々検討を加える。

## 2.1 しょくへんの問題

新常用漢字表(仮称)試案で、しょくへんに関わる漢字は、「飲」「餓」「館」「飢」「飼」「餌」「飾」「飯」「餅(餅)」「飽」「余(餘)」の11字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006	
飲	飲				飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲
餓	餓				餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓	餓
館	館				館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館
飢	飢				飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢
飼	飼				飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼	飼
餌	餌	餌			餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌
飾	飾	飾			飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾	飾

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006	
飯	飯				飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯
餅		餅		餅	餅	餅			餅		餅	餅	餅	餅	餅				餅
(餅)																			
飽	飽				飽	飽	飽		飽	飽	飽	飽	飽	飽	飽	飽	飽	飽	飽
余	余				余	余	余		余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余
(餘)	(餘)																		

これら 11 字のうち、「飲」「餓」「館」「飢」「飼」「飾」「飯」「飽」の 8 字は、しょくへんが新字体なのに対し、「餌」「餅(餅)」「余(餘)」の 3 字は旧字体となっており、字体に不整合が生じている。「余(餘)」のようにカッコ書きを旧字体にするのは、常用漢字表も基本的にそうなので仕方ないにしても、なぜ新字体の「餌」「餅」ではなく、旧字体の「餌」「餅」なのか。

比較表を右に見ていくと、「飲」「餓」「館」「飢」「飼」「飾」「飯」「飽」「余(餘)」の 9 字は、常用漢字表にほぼ同じ字体が含まれていることがわかる。これに対し、「餌」「餅」の 2 字は、常用漢字表には含まれておらず、表外漢字字体表にほぼ同じ字体が含まれている。つまり、しょくへんの漢字に関しては、常用漢字表にあるものは常用漢字表の字体を、ないものは表外漢字字体表の字体を、それぞれ新常用漢字表(仮称)試案に使ってしまったがために、それらの間で不整合が発生していると考えられる。

## 2.2 しんによりの問題

新常用漢字表(仮称)試案で、しんによりに関わる漢字は、「違」「遺」「逸(逸)」「運」「遠」「過」「還」「逆」「近」「遇」「迎」「遣」「込」「遮」「週」「述」「巡」「遵」「進」「迅」「遂」「随(隨)」「髓(髓)」「逝」「遷」「選」「遡」「送」「遭」「造」「速」「遜」「退」「逮」「達」「遅(遲)」「逐」「追」「通」「逋(遞)」「適」「迭」「途」「逃」「透」「道」「導」「謎」「迫」「避」「辺(邊)」「返」「遍」「迷」「遊」「連」の 56 字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006	
違	違				違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違
遺	遺				遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺
逸	逸		(逸)	(逸)	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸
(逸)	(逸)		逸	逸					逸	逸					逸	逸	逸	逸	逸
運	運				運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運
遠	遠				遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠	遠
過	過				過	過	過	過	過	過	過	過	過	過	過	過	過	過	過
還	還				還	還	還	還	還	還	還	還	還	還	還	還	還	還	還
逆	逆				逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆	逆
近	近				近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近
遇	遇				遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇	遇
迎	迎				迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎	迎
遣	遣				遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣	遣
込	込				込	込	込	込	込	込	込	込	込	込	込	込	込	込	込
遮	遮				遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮	遮
週	週				週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週





新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
逃逃					逃逃逃				逃逃逃逃逃逃逃逃									逃逃
透透					透透透				透透透透透透透透									透透
道道					道道道				道道道道道道道道									道道
導導					導導導				導導導導導導導導									導導
謎	謎			謎謎	謎謎				謎 謎謎謎謎謎謎									謎謎謎
迫迫				迫迫迫					迫迫迫迫迫迫迫迫									迫迫
避避				避避避					避避避避避避避避									避避
辺辺				辺辺辺					辺辺 邊邊									
(邊)(邊)				邊邊邊					邊邊 邊邊邊邊邊邊									邊邊
返返				返返返					返返返返返返返返									返返
遍遍				遍遍遍					遍遍遍遍遍遍遍遍									遍遍
迷迷				迷迷迷					迷迷迷迷迷迷迷迷									迷迷
遊遊				遊遊遊					遊遊遊遊遊遊遊遊									遊遊
連連				連連連					連連連連連連連連									連連

これら 56 字のうち、「違」「遺」「運」「遠」「過」「還」「逆」「近」「遇」「迎」「遣」「込」「遮」「週」「述」「巡」「遵」「進」「迅」「遂」「逝」「遷」「選」「送」「遭」「造」「速」「退」「逮」「達」「逐」「追」「通」「適」「迭」「途」「逃」「透」「道」「導」「迫」「避」「返」「遍」「迷」「遊」「連」の 47 字は 1 点しんによる。「逸(逸)」「隨

(隨)「髓(髓)」「遲(遲)」「逶(遞)」「辺(邊)」の6字は1点しんによろだが、2点しんによろの旧字体がカッコ書きに入っている。ところが「遡」「遜」「謎」の3字は2点しんによろである。すなわち、常用漢字表に含まれていた53字に関しては、そのまま1点しんによろを踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった3字「遡」「遜」「謎」に対しては、表外漢字字体表(あるいは2004年版人名用漢字もしくは2004年版JIS X 0213)の2点しんによろを採用したと考えられる。

ただ、「返」とカッコ書きの「邊」に関しては、常用漢字表よりむしろJIS X 0213の字体(あるいは1990年版JIS X 0208)に近いことから、しんによろに関しては全ての漢字において、2004年版JIS X 0213の字体をコピーしただけの可能性も高い。つまり、新常用漢字表(仮称)試案での字体の不整合は、少なくともしんによろを含む漢字に限っては、2004年版JIS X 0213の字体をまねた結果だと考えていだろう。

### 2.3 眞の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、眞/眞に関わる漢字は、「眞(眞)」「慎(慎)」「鎮(鎮)」「墳」の4字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
眞	眞		(眞)	(眞)	眞	眞	眞		眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞		
(眞)	(眞)		眞	眞	眞	眞	眞		眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞
慎	慎		(慎)	(慎)	慎	慎	慎		慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎
(慎)	(慎)		慎	慎	慎	慎	慎		慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎	慎
鎮	鎮		(鎮)	(鎮)	鎮	鎮	鎮		鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮
(鎮)	(鎮)		鎮	鎮	鎮	鎮	鎮		鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮
							墳		墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳
墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳			墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳

これら4字のうち、「眞」「慎」「鎮」の3字は新字体が採用されており、「墳」だけが旧字体である。すなわち、常用漢字表に含まれていた3字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「墳」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。ただし、カッコ書きの「眞」「慎」「鎮」については、いずれも常用漢字表より、むしろ2004年版人名用漢字の字体(あるいはJIS X 0208/0213)に近い。したがって旧字体に関しては、「墳」もカッコ書きの「眞」「慎」「鎮」も、いずれも2004年版人名用漢字の字体をコピーした可能性も考えられる。

実は、この場合は、「填(填)」という形で新常用漢字表(仮称)に新字体を採用したとしても、現実的な問題は発生しない。というか、JIS X 0208 や JIS X 9051/9052 のサポートを考えた場合は、新字体の「填」の方がむしろ楽なくらいである。なぜ、あえて旧字体の「填」にこだわって、字体の不整合を起こした上に、情報機器における実装を難しくするのか、理解に苦しむところだ。

## 2.4 單の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、単/單に関わる漢字は、「戰(戰)」「禪(禪)」「單(單)」「憚」「彈(彈)」の5字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
戰	戰		(戰)	(戰)	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰
(戰)	(戰)		戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰	戰
禪	禪		(禪)	(禪)	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪
(禪)	(禪)		禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪	禪
單	單		(單)	(單)	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單
(單)	(單)		單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單	單
憚	憚				憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚
彈	彈		(彈)	(彈)	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈
(彈)	(彈)		彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈	彈

これら5字のうち、「戰」「禪」「單」「彈」の4字は新字体が採用されており、「憚」だけが旧字体である。すなわち、常用漢字表に含まれていた4字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「憚」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。

ただし、「憚(憚)」という形で新常用漢字表(仮称)に新字体を採用すると、JIS X 0208 や JIS X 9051/9052 でのサポートがむしろ難しくなる。字体の不整合を解消する方を取るか、情報機器での実装を取るか、思案のしどころだと言えるだろう。

## 2.5 𪗇の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、𪗇に関わる漢字は、「棧(棧)」「殘(殘)」「淺(淺)」「踐(踐)」「箋」「錢(錢)」の6字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
棧	棧				棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧
(棧)	(棧)				棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧
殘	殘				殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘
(殘)	(殘)				殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘	殘
淺	淺				淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺
(淺)	(淺)				淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺
踐	踐				踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐
(踐)	(踐)				踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐
箋		箋			箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋	箋
錢	錢				錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
(錢)	(錢)				錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

これら6字のうち「棧」「殘」「淺」「踐」「錢」の5字は新字体が採用されており、「箋」だけが旧字体である。すなわち、常用漢字表に含まれていた5字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「箋」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。

ただ、この場合は、「棧」「殘」「淺」「踐」「錢」の5字はへんとうつくりに分かれる形なのに対し、「箋」は上下に分かれる形である。つまり、「箋」だけが孤立していることから、その意味では、字体の不整合は無視していいかもしれない。

## 2.6 龍の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、竜/龍に関わる漢字は、「襲」「滝(瀧)」「竜(龍)」「籠」の4字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
襲	襲				襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲	襲
滝	滝			(滝)	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝	滝
(瀧)	(瀧)			瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧	瀧
竜	竜		(竜)	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜	竜
(龍)	(龍)		龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
籠	籠				籠籠籠	籠籠籠	籠籠籠	籠籠籠	籠籠籠	籠籠籠	籠籠籠							

これら4字のうち、「滝」「竜」は新字体が採用されており、「襲」「籠」は旧字体となっている。ただし、「襲」は常用漢字表でも旧字体なので、そのまま旧字体とするのも仕方ないだろう。一方、「籠」については、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられる。

なお、カッコ書きの「籠」に関しては、常用漢字表や人名用漢字の「籠」とは異なる字体を、新常用漢字表(仮称)試案は採用している。比較表を見た限り、「籠」に関しては、JIS X 0208/0213の字体をコピーした可能性が高いと考えられる。

## 2.7 曷の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、曷に関わる漢字は、「謁(謁)」「喝(喝)」「渴(渴)」「葛」「褐(褐)」「揭(揭)」の6字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006	
謁	謁		(謁)	(謁)	謁謁謁	謁謁謁	謁謁謁	謁謁謁	謁謁謁	謁謁謁	謁謁謁								
(謁)	(謁)		謁謁	謁謁					謁謁								謁謁謁	謁謁謁	
喝	喝						喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝	喝喝
(喝)	(喝)			喝					喝喝								喝喝	喝喝	
渴	渴		(渴)	(渴)	渴渴渴	渴渴渴	渴渴渴	渴渴渴	渴渴渴	渴渴渴	渴渴渴	渴渴渴							
(渴)	(渴)		渴渴	渴渴					渴渴								渴渴	渴渴	
葛	葛			葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛	葛葛
褐	褐			褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐	褐褐
(褐)	(褐)								褐褐								褐褐	褐褐	
揭	揭		(揭)	(揭)	揭揭揭	揭揭揭	揭揭揭	揭揭揭	揭揭揭	揭揭揭	揭揭揭	揭揭揭							
(揭)	(揭)		揭揭	揭揭					揭揭								揭揭	揭揭	

これら6字のうち、「謁」「喝」「渴」「褐」「揭」の5字は新字体が採用されており、「葛」だけが旧字体である。すなわち、常用漢字表に含まれていた5字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「葛」に対しては、表外漢字字体表(あるいは2004年版人名用漢字)の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。ただ、この場

合は、「謁」「喝」「渴」「褐」「掲」の5字はへんにつくりに分かれる形なのに対し、「葛」は上下に分かれる形である。つまり、「葛」だけが孤立していることから、その意味では、字体の不整合は無視していいかもしれない。

なお、カッコ書きの「渴」は、3画目と8画目が非常に長いという特徴のある字体が、新常用漢字表(仮称)試案には採用されている。比較表を右に見ていく限り、Batangがデザイン上もっとも近く、これをコピーした可能性が考えられる。また、カッコ書きの「褐」は、10画目が極端に短く、比較表に示した中には、このような特徴を持つ字体は他にはない。

## 2.8 夾の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、夾に関わる漢字は、「峽(峽)」「挟(挟)」「狭(狭)」「頰」の4字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
峽	峽		(峽)	(峽)	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽
(峽)	(峽)		挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟
挟	挟				挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟
(挟)	(挟)				挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟	挟
狭	狭		(狭)	(狭)	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭
(狭)	(狭)		狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭	狭
					頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰
頰	頰		頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰

これら4字のうち、「峽」「挟」「狭」の3字は新字体が採用されており、「頰」だけが旧字体である。すなわち、常用漢字表に含まれていた3字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「頰」に対しては、表外漢字字体表(あるいは2004年版人名用漢字)の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。

実は、この場合は、「頰(頰)」という形で新常用漢字(仮称)に新字体を採用したとしても、現実的な問題は発生しない。JIS X 0208やJIS X 9051/9052での実装を考慮に入れたなら、あえてわざわざ旧字体の「頰」にこだわって、字体の不整合を起こす理由は無い。

## 2.9 者の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、者に関わる漢字は、「者(者)」「煮(煮)」「暑(暑)」「署(署)」「緒(緒)」「諸(諸)」「著(著)」「都(都)」「賭」「箸」の8字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
者	者		(者)	(者)	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者
(者)	(者)		者	者					者	者							者	者
煮	煮		(煮)	(煮)	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮	煮
(煮)	(煮)		煮	煮					煮	煮							煮	煮
暑	暑		(暑)	(暑)	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑	暑
(暑)	(暑)		暑	暑					暑	暑							暑	暑
署	署		(署)	(署)	署	署	署	署	署	署	署	署	署	署	署	署	署	署
(署)	(署)		署	署					署	署							署	署
緒	緒		(緒)	(緒)	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒
(緒)	(緒)		緒	緒					緒	緒							緒	緒
諸	諸		(諸)	(諸)	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸
(諸)	(諸)		諸	諸					諸	諸							諸	諸
著	著		(著)	(著)	著	著	著	著	著	著	著	著	著	著	著	著	著	著
(著)	(著)		著	著					著	著							著	著
都	都		(都)	(都)	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都
(都)	(都)		都	都					都	都							都	都
									賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭
賭		賭			賭				賭		賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭
									箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸
箸		箸			箸	箸			箸		箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸

これら8字のうち、「者」「煮」「暑」「署」「緒」「諸」の6字は新字体(点のない者)が採用されており、「賭」「箸」の2字は旧字体(点のある者)となっている。すなわち、常用漢字表に含まれていた6字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「賭」「箸」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。

ただし、これら2字に対して、「賭(賭)」「箸(箸)」という形で新字体を採用すると、新常用漢字表(仮称)としては不整合が解消されて都合がよいのだが、JIS X 0213としては困ったことになる。というのも、現時点のJIS X 0213は、常用漢字とカッコ書きの漢字に、それぞれ別の符号位置を与えているからだ。たとえば、「者」「者」「煮」「煮」「暑」「暑」「署」「署」「緒」「緒」「諸」「諸」「著」「著」「都」「都」は、それぞれ別の符号位置が与えられている。一方、JIS X 0213では、「賭」と「賭」は同じ符号位置に包摂されている。「箸」と「箸」も同じ符号位置に包摂

されている。なので、もし、新常用漢字表(仮称)が、「賭(賭)」「箸(箸)」という形で新字体を採用すると、現在の JIS X 0213 とは微妙な齟齬が発生してしまうのだ。字体の不整合を解消するか、JIS X 0213 との齟齬を回避するか、思案のしどころだと言えるだろう。

## 2.10 录の問題

新常用漢字表(仮称) 試案で、录に関わる漢字は、「剥」「緑(綠)」「録(錄)」の3字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
									剥剥	剥剥剥剥剥剥剥剥								
剥	剥								剥									
緑	緑	(緑)	(緑)	緑	緑	緑			緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
(緑)	(緑)	緑	緑						緑	緑		緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
録	録	(録)	(録)	録	録	録			録	録	録	録	録	録	録	録	録	録
(録)	(録)	録	録						録	録								

これら3字のうち、「緑」「録」の2字は新字体が採用されており、「剥」だけが旧字体となっている。すなわち、常用漢字表に含まれていた2字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「剥」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称) 試案では字体に不整合が生じている。

実は、この場合は、「剥(剥)」という形で新常用漢字表(仮称)に新字体を採用したとしても、現実的な問題は発生しない。というか、JIS X 0208 や JIS X 9051/9052 のサポートを考えた場合は、新字体の「剥」の方がむしろ楽なくらいである。なぜ、あえて旧字体の「剥」にこだわって、字体の不整合を起こした上に、情報機器における実装を難しくするのか、理解に苦しむところだ。しかも、新常用漢字表(仮称) 試案での「剥」の字体は、表外漢字字体表よりむしろ Batang に似ており、その点でも理解に苦しむ。

## 2.11 歩の問題

新常用漢字表(仮称) 試案で、歩に関わる漢字は、「涉(涉)」「挾」「頻(頻)」「歩(歩)」の4字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
涉	涉		(涉)	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉
(涉)	(涉)		涉	涉					涉	涉							涉	涉
							涉	涉		涉	涉	涉	涉	涉	涉	涉		
涉		涉		涉					涉								涉	涉
頻	頻			頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻	頻
(頻)	(頻)			頻					頻	頻							頻	頻
歩	歩		(歩)	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
(歩)	(歩)		歩	歩					歩	歩							歩	歩

これら4字のうち、「渉」「頻」「歩」の3字は新字体が採用されており、「渉」だけが旧字体となっている。すなわち、常用漢字表に含まれていた3字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「渉」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。

ただし、「渉(渉)」という形で新字体を採用すると、新常用漢字表(仮称)としては不整合が解消されて都合がよいのだが、JIS X 0213としては困ったことになる。JIS X 0213は、「渉」と「渉」を同一の符号位置に包摂しているからだ。字体の不整合を解消するか、JIS X 0213との齟齬を回避するか、思案のしどころだろう。

## 2.12 次の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、次に関わる漢字は、「茨」「姿」「恣」「資」「諮」「次」「羨」「盜(盜)」の8字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
茨	茨		茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨
姿	姿			姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿
恣		恣		恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣
資	資			資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資
諮	諮			諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮
次	次			次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次
羨	羨		羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006	
盜	盜		(盜)	(盜)	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜
(盜)	(盜)		盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜	盜

これら8字のうち、「盜」はにすいの次が、「姿」「資」「諮」「次」はにすいの下の画を短めにした次が、「茨」「恣」は上の画も横一にした次が、「羨」はさんずいの次が、それぞれ採用されており、常用漢字表の字体とは微妙に異なっている。比較表を右に見ていくと、この8字に関しては、2004年版 JIS X 0213 にほぼ同じ字体が含まれていることがわかる。すなわち、次を部分字体に含む漢字に関しては、2004年版 JIS X 0213 の字体をまねて新常用漢字表(仮称)試案に使ってしまったがために、2004年版 JIS X 0213 の字体の不整合をそのまま引き継ぐ結果になってしまった、と考えられる。

### 2.13 愈の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、愈に関わる漢字は、「喩」「愉」「諭」「輪」「癒」の5字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006	
喩	喩								喩	喩									
愉	愉								愉	愉	愉	愉	愉	愉	愉	愉	愉	愉	愉
諭	諭								諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭
輪	輪								輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪
癒	癒								癒	癒	癒	癒	癒	癒	癒	癒	癒	癒	癒

これら5字のうち、「愉」「諭」「輪」「癒」の4字は新字体が採用されており、「喩」だけが旧字体となっている。すなわち、常用漢字表に含まれていた4字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「喩」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。

ただし、「喩」という形で新常用漢字表(仮称)に新字体を採用すると、JIS X 0208/0213でのサポートが難しくなる。というのも、これらの規格における「喩」

の名前は「CJK UNIFIED IDEOGRAPH-55A9」であるのに対し、「喻」の名前は「CJK UNIFIED IDEOGRAPH-55BB」であり、国際規格上は別の文字だと認識されているからである。したがって、「喻」が新常用漢字表(仮称)に採用されたなら、現在の JIS X 0208/0213 とは微妙な齟齬が発生してしまうのだ。字体の不整合を解消するか、JIS X 0208/0213 との齟齬を回避するか、思案のしどころだと言えるだろう。

## 2.14 肖の問題

新常用漢字表(仮称)試案で、肖に関わる漢字は「削」「肖」「哨」「宵」「消」「硝」の6字である。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
削	削				削	削	削	削	削	削	削	削	削	削	削	削	削	削
肖	肖				肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖	肖
哨		哨					哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨
宵	宵				宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵
消	消				消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消
硝	硝				硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝	硝

これら6字のうち、「削」「肖」「宵」「消」「硝」の5字は新字体が採用されており、「哨」だけが旧字体となっている。すなわち、常用漢字表に含まれていた5字に対しては新字体を踏襲しているが、常用漢字表に含まれていなかった「哨」に対しては、表外漢字字体表の旧字体を採用したと考えられ、その結果、新常用漢字表(仮称)試案では字体に不整合が生じている。

ただし、「哨」という形で新常用漢字(仮称)に新字体を採用すると、人名用漢字「哨」との齟齬が生じる。新常用漢字(仮称)と人名用漢字とで異なる字体を採用すると、そのツケは結局、JIS漢字規格に回されることになる<sup>‡</sup>。人名用漢字と同じ字体を採用するか、新常用漢字(仮称)内での字体の不整合を解消するか、難しい選択だと考えられる。

<sup>‡</sup>安岡孝一: 神と神、榊と榊 —常用漢字表拡大のインパクト—, 東洋学へのコンピュータ利用, 第19回研究セミナー(2008年3月), pp.3-30.

## 2.15 その他の問題

その他、常用漢字表と表外漢字字体表の字体差に起因して、新常用漢字表(仮称)試案で字体に不整合が生じているものとして、以下の例があげられる。

- 「幣」「弊」「蔽」
- 「勤」「僅」「謹」
- 「朝」「嘲」「潮」
- 「煎」「前」
- 「弱」「溺」
- 「具」「惧」

各々どのような不整合があるか、付録の比較表で確認されたい。

## 3 新常用漢字表(仮称)試案はどのように作られたか

新常用漢字表(仮称)試案の「基本的な考え方」によれば、この試案の字体は、追加分の191字については表外漢字字体表の印刷標準字体を採用し、それ以外の漢字については常用漢字表を踏襲しているはずである。しかしながら、これまで見てきた通り、新常用漢字表(仮称)試案は、必ずしも常用漢字表の字体を踏襲してはいない。この点に着目し、以下では、新常用漢字表(仮称)試案がどのように作成されたか、その過程について推察をおこなうことにする。

常用漢字表から新常用漢字表(仮称)試案に入った1940字のうち、明らかなデザイン差が認められるものを、いくつか挙げてみよう。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
医	医				医	医	医		医	医	医	医	医	医	医	医		
園	園		(園)	園	園	園	園		園	園	園	園	園	園	園	園	園	園
漆	漆			漆	漆	漆	漆		漆	漆	漆	漆	漆	漆	漆	漆	漆	漆
肃	肃			肃	肃	肃	肃		肃	肃	肃	肃	肃	肃	肃	肃	肃	肃
返	返			返	返	返	返		返	返	返	返	返	返	返	返	返	返

これらは「とめるか、はらうか」に関するデザイン差であり、もちろん字体差における議論の対象とはならないのだが、新常用漢字表(仮称)試案の作成過程を考察する手がかりにはなる。ざっと比較表を見比べてみると、新常用漢字表(仮称)試案におけるこれらの字体は、いずれも JIS X 0208/0213 での例示字体にかなり似ているといえる。MS明朝との間にも類似点が見られるが、少なくとも「返」の字体は微妙に異なる。では、2.12節で述べた「次」の例はどうだろう。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
姿	姿				姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿
資	資				資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資
諮	諮				諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮	諮
次	次				次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次	次

やはり、新常用漢字表 (仮称) 試案におけるこれらの字体は、JIS X 0208/0213 での例示字体そのものだと考えられる。常用漢字表や MS 明朝の字体とは、明らかに異なっている。

さらに、常用漢字表のカッコ書きの漢字のうち、新常用漢字表 (仮称) 試案とは明らかなデザイン差があるものを、いくつか挙げてみよう。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
(稱)	(稱)				稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱	稱
(眞)	(眞)		眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞
(愼)	(愼)		愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼	愼
(徵)	(徵)		徵	徵					徵	徵						徵	徵	徵
(鎮)	(鎮)		鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮
(併)	(併)								併	併						併	併	併
(邊)	(邊)				邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
(龍)	(龍)		龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍

これらを比較する限り、新常用漢字表 (仮称) 試案のカッコ書きの字体は、JIS X 0208 の 1990 年版の字体に、かなり似ていると言える。しかし、1990 年版 JIS X 0208 に掲載されていない「徵」「併」に関しては、どうも Batang に似ているように思われる。「徵」では、新常用漢字表 (仮称) 試案と Batang は第 8 画が横一の「徵」だが、常用漢字表と JIS X 0213 と 2006 年版 MS 明朝は斜めの「徵」だ。「併」では、新常用漢字表 (仮称) 試案と Batang は「併」だが、常用漢字表と JIS X 0213 と 2006 年版 MS 明朝は「併」だ。

ここまでを考え合わせると、新常用漢字表 (仮称) 試案に常用漢字表から入った 1940+357 字は、基本的には、1990 年版 JIS X 0208 の平成明朝体を使って印刷されている可能性が高い、と推察される。少なくとも、新常用漢字表 (仮称) 試案は、JIS X 0213 での平成明朝体を使用していない。このあたりをハッキリさせるために、常用漢字表のカッコ書きで、JIS X 0208 に掲載されていない漢字に関して、いくつか比較してみよう。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006	
縁	縁		縁	縁					縁	縁							縁	縁	縁
温	温								温	温							温	温	温
渴	渴								渴	渴							渴	渴	渴
褐	褐								褐	褐							褐	褐	褐
郷	郷								郷	郷			郷	郷	郷				
薫	薫		薫	薫					薫	薫			薫	薫	薫			薫	薫
研	研								研	研							研	研	研
社	社		社	社					社	社							社	社	社
者	者		者	者					者	者							者	者	者
涉	涉		涉	涉					涉	涉							涉	涉	涉
増	増		増	増					増	増		増	増	増			増	増	増
懲	懲		懲	懲					懲	懲							懲	懲	懲
鬪	鬪							鬪	鬪	鬪				鬪	鬪	鬪			
徳	徳		徳	徳				徳	徳	徳			徳	徳	徳		徳	徳	徳
隆	隆							隆	隆	隆			隆	隆	隆		隆	隆	隆
緑	緑		緑	緑				緑	緑	緑			緑	緑	緑		緑	緑	緑
涙	涙		涙	涙				涙	涙	涙							涙	涙	涙
戾	戾							戾	戾	戾							戾	戾	戾
郎	郎		郎	郎				郎	郎	郎							郎	郎	郎
録	録		録	録				録	録	録							録	録	録

なお、比較を容易にするために、あえてカッコは外してみた。少なくともこれらの漢字に関する限り、JIS X 0213の平成明朝体は、新常用漢字表(仮称)試案には使われていない。そう断言して間違いない。

ここまでをまとめると、新常用漢字表(仮称)試案に常用漢字表から入った1940字は、1990年版JIS X 0208の平成明朝体を使って印刷されたと考えられる。カッコ書きの357字も、基本的には1990年版JIS X 0208の平成明朝体を使っているが、ただし、カッコ書き357字のうち100字はJIS X 0208には掲載されていないため、これらに対してはBatangもしくは何か別のフォントが使われている。JIS X 0213の平成明朝体は使われていない。ちなみに「鬪」は、MS明朝の2006年版よりむしろ2001年版に近い字体となっており、今後これも問題となりそうである。

では、追加分の191字は、どうなのだろう。2章で字体不整合の例として挙げた中で、表外漢字字体表から新常用漢字表(仮称)試案に入った25字に関して、字形を比較してみよう。

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0213 2004	X9051 1984	X9052 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	바탕 2000	바탕 2006
茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨
葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛	葛
僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅	僅
惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧	惧
恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣
餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌	餌
哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨
煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎	煎
羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨	羨
遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡	遡
遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜	遜
憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚	憚
嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲	嘲
抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄	抄
溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺	溺
填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填	填
賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭	賭
謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎
剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝
箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸	箸
蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽	蔽
餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅	餅
頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰
喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩	喩
籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠	籠

「惧」「恣」「羨」「憚」「喩」「籠」に関しては、JIS X 0208/0213の平成明朝体とほぼ同一の字形が印刷されており、したがって表外漢字字体表の平成明朝体とも同一だと考えられる。というのも、この6字に関しては、1990年版JIS X 0208の平成明朝体が、表外漢字字体表にもJIS X 0213にも使用されたからだ。

しかし、残りの19字は、一見、表外漢字字体表と似ているのだが、目を凝らして精査してみると、実は、表外漢字字体表とは異なる字形である。たとえば「葛」は、中にある「人」の上の部分が新常用漢字表(仮称)試案では離れているが、表

外漢字字体表ではくっついている。「邈」と「謎」は、2点しんによりの2つの点  
が新常用漢字表(仮称)試案では完全に上下に並んでいて、表外漢字字体表とは点  
の配置が違っている。「墳」は、中の「目」の位置が、新常用漢字表(仮称)試案と  
表外漢字字体表とで微妙に左右にずれている。「剝」は、けいがしらの大きさが異  
なっている。「箸」は、中の「土」の1画目の長さが違う。「餅」は、しょくへんの  
3画目の配置が異なっている。

つまり、新常用漢字表(仮称)試案の印刷には、表外漢字字体表の平成明朝体は  
使われていない。表外漢字字体表に似せた何か別のフォントが使われているのだ。  
文化審議会国語分科会漢字小委員会の委員会資料を遡ってみたところ、このフォ  
ントが漢字小委員会に登場したのは、2008年10月21日の委員会資料2「追加字種  
(191字)表」(案)のようである。この直前、2008年9月22日の委員会資料2「追  
加字種候補・音訓一覧(案)」は、基本的に2006年版のMS明朝で印刷されている。  
ただし、9月22日の資料2でも、「茨」は新常用漢字表(仮称)試案と同じフォント  
になっている。これを考え合わせると、『表外漢字字体表に似せた何か別のフォ  
ント』は、2008年9月前後に製作されたのではないかと推測される。

まとめると、新常用漢字表(仮称)試案の印刷には、基本的に1990年版JIS X  
0208の平成明朝体が使用されている。ただし、1990年版JIS X 0208にない漢字、  
あるいは字体が異なる漢字に対しては、Batangかあるいは何か別のフォントが使  
用されている。表外漢字字体表の平成明朝体も、2004年版JIS X 0213の平成明朝  
体も、どちらも使用されていない、というのが現状である。

## 4 おわりに

2009年3月16日にパブリックコメントに付された「新常用漢字表(仮称)」に関  
する試案に対し、どのような字体が使用されているか検討し、その不整合を洗い  
出した。その結果、新常用漢字表(仮称)試案は、常用漢字表とも表外漢字字体表  
とも異なるデザインを持つフォントを使用しており、それが不整合の一端となっ  
ていることが明らかとなった。すなわち、1990年版のJIS X 0208に用いられた平  
成明朝体を、かなりの文字で流用している。しかも、流用しきれなかった漢字に  
関しては、別のさまざまなフォントを用いてしまっており、不整合にますます拍  
車をかけているように思われる。

どうせ平成明朝体を使うのならば、なぜ、2004年版のJIS X 0213に用いられた  
平成明朝体を使わないのだろう。付録の比較表を見ればわかるとおり、2004年版の  
JIS X 0213であれば、表外漢字字体表の印刷標準字体と簡易慣用字体は、全て同じ  
字形のまま収録しているのだ。それを使わずに、なぜあえて1990年版JIS X 0208  
の平成明朝体なのか。残念ながら、この疑問には明確な答が見つからなかった。

なお、本稿の初稿は、2009年1月29日の文化審議会総会で承認された「新常用  
漢字表(仮称)」に関する試案を元に執筆した。その後3月16日にパブリックコメ

ントが開始された時点で、新常用漢字表(仮称)試案の文字画像を全て差し替えて、再度、内容の検討をおこなった上、2009年3月27日版として改訂した。

## 付録 新常用漢字表(仮称)試案の字体比較表

新常用 2009	常用 1981	表外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 2000	X0213 2004	X0951 1984	X0951 1983	MS明 1993	MS明 1997	MS明 2001	MS明 2006	MS明 2000	呼号 2006
亜	亞	(亞)	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞	亞
哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀	哀
挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨	挨
愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛	愛
曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖
惡	惡	(惡)	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡	惡
握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握	握
顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎	顎
庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄
壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓	壓
扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛
嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐	嵐
安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安
案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案	案
暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗
以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以
衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣	衣
位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位
困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困	困
圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍
医	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依
委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委	委
畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏	畏
威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威	威
胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃	胃
為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為	為
尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉
異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異
移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移	移
萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎	萎
偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉	偉
椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅	椅
意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意
違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違	違
彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙
維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維	維
慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰	慰
遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺	遺
緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯	緯
域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域	域
育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老	老
壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹
逸	逸	(逸)	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸	逸
茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨	茨
芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋	芋
引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引
印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印
因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因
咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽
姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻	姻
員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員
院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院	院
淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫	淫
陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰	陰
飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲
隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱
韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇	宇
羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽	羽
雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨
韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻
運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運
雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲
永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永	永
泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳	泳
英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英
映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映
榮	榮	(榮)	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮
營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營	營
詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠
影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影	影
銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳	銳
衛	衛	(衛)	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛
易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易
疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫	疫
益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益	益
液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液	液
駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢
驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛	驛
悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅	悅





































新常用 2009	常用 1981	去外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0651 2004	X0662 1984	MS19 1983	MS19 1983	MS19 1993	MS19 1997	MS19 2001	MS19 2006	MS19 2006	编号 2000	编号 2006	
分	分																				
文	文																				
聞	聞																				
丙	丙																				
平	平																				
兵	兵																				
併	併																				
(併)	(併)																				
並	並																				
(並)	(並)																				
柄	柄																				
陸	陸																				
閉	閉																				
墀	墀																				
(墀)	(墀)																				
聘	聘																				
幣	幣																				
弊	弊																				
蔽	蔽																				
餅	餅																				
(餅)	(餅)																				
米	米																				
壁	壁																				
壁	壁																				
癖	癖																				
別	別																				
蔑	蔑																				
片	片																				
辺	辺																				
(邊)	(邊)																				
返	返																				
變	變																				
(變)	(變)																				
偏	偏																				
遍	遍																				
編	編																				
弁	弁																				
(辨)	(辨)																				
(辯)	(辯)																				
便	便																				
勉	勉																				
(勉)	(勉)																				
步	步																				
(步)	(步)																				
保	保																				
捕	捕																				
浦	浦																				
補	補																				

新常用 2009	常用 1981	去外 2000	人名 1981	人名 2004	C6226 1978	C6226 1983	X0208 1990	X0212 1990	X0213 2000	X0651 2004	X0662 1984	MS19 1983	MS19 1983	MS19 1993	MS19 1997	MS19 2001	MS19 2006	MS19 2006	编号 2000	编号 2006	
舖	舖																				
母	母																				
募	募																				
慕	慕																				
暮	暮																				
簿	簿																				
方	方																				
包	包																				
芳	芳																				
邦	邦																				
奉	奉																				
宝	宝																				
(寶)	(寶)																				
抱	抱																				
放	放																				
法	法																				
泡	泡																				
胞	胞																				
俸	俸																				
做	做																				
峰	峰																				
(峰)	(峰)																				
砲	砲																				
崩	崩																				
訪	訪																				
報	報																				
蜂	蜂																				
豐	豐																				
(豐)	(豐)																				
飽	飽																				
褒	褒																				
(褒)	(褒)																				
縫	縫																				
亡	亡																				
乏	乏																				
忙	忙																				
坊	坊																				
妨	妨																				
忘	忘																				
防	防																				
房	房																				
肪	肪																				
某	某																				
冒	冒																				
剖	剖																				
紡	紡																				
望	望																				
傍	傍																				
帽	帽																				
棒	棒																				





